

車体解体マニュアル (レントゲン車)

合資会社 中北車体工作所

営業部 025-271-3332

作成日 2021.11.20

はじめに

本マニュアルは、レントゲン車を解体する際の留意点、解体手順を記載したものです。

車輛を解体する際の注意事項

- 1. 本車輛は鉄製骨格、鋼板等を使用しバス型に架装したものです。
- 2. 解体した部品は、鉄・アルミ・ステンレス・木材・ゴム・樹脂（F P P／P P）・配線材等、材質等別に分類し、適正な処理を行って下さい。
- 3. レントゲン撮影室の内壁及び内側には、X線防護の為 0.5 mm～2.5 mm厚の鉛板が貼り込まれております。又撮影室仕切り及び扉のガラスにつきましては含鉛ガラスを使用しています。解体の際には必ずそれらを分離し、単独での適正な処理を行って下さい。
- 4. 取り外したビス・ボルト類は必ずまとめて適正な処理を行って下さい。

（ビス・ボルト類は、表面处理材に六価クロムが含有されている場合があります）
- 5. 取り外した配線は、コルゲートチューブ等の保護材と分離して、適正な処理を行って下さい。
- 6. 本マニュアルはレントゲン車輛の解体の手順について記述したものです。

架装ベースシャシメーカー・医療機器メーカー・部品メーカーの指示により解体・廃棄を行って下さい。

車輛の主な架装部品

レントゲン装置	ヒーター	充電器	定員座席
発動発電機	天井換気扇	配電盤	待合座席
走行エアコン	蛍光灯	コードリール	ドアエンジン
ルームエアコン	油圧ジャッキ	アースリール	
バスクーラー	プレヒーター	トランス	

レントゲン車の解体手順（1～7）

1.解体前処理作業

作業を行うに当たって、定められた作業服、作業帽またはヘルメット、安全靴の着用をお願いします。作業内容に応じて保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。

- フロンガスの抜き取り①シャシクーラー②バスクーラー③ルームクーラー
- 燃料系の抜き取り

抜き取り装置で完全に抜き取って下さい。回収につきましては消防法を遵守して引火、爆発がないような環境下で作業行って下さい。又十分な換気もおこなって下さい。

- 油脂、液体系の抜き取り、回収につきましては地下浸透・施設外流出が発生しないような環境及び方法で行って下さい。
- バッテリーの取り外し

正負をショートさせない様に取り外して下さい。

- パワーステアリングオイルの抜き取り

インテグラルボックス、オイルタンク、及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。

- LLC（不凍液）

ラジエーターの下部とエンジンに冷却水ドレンコックより専用トレイに受け、所定の容器に保管して下さい。

増設ヒーターがある場合は、各ヒーターユニット及びパイピングも含め冷却水を抜き取って下さい。

- 油圧ジャッキオイルの抜き取り

オイルタンク及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。

2.レントゲン装置の取り外し

レントゲン装置の取り外しは、必ずメーカーのサービスへ依頼して下さい。

！注意 鉛を含めた環境負荷物質が使用されています。

3.車輻に取付けられている機器、部品の取り外し

車輻の主な架装部品に記載されている機器、部品を取り外して下さい。（主にビス、ボルト固定しています。）

- ・取り外し後の廃棄方法につきましては、各部品メーカーにお問い合わせの上、適正な処理をおこなって下さい。

4. 外装部品を取り外し

- ① フェンダートリム・モール等の取り外して下さい。（挟み込み・接着固定）
- ② 走行計系灯具を取り外して下さい。（ビス固定）
- ③ 天幕を取り外して下さい。（ボルト固定、接着材使用）
- ④ ワイパー・サイドミラーの取り外し。（ビス・ボルト固定）
- ⑤ 前後バンパーの取り外し。（ボルト固定）
- ⑥ ヘッドランプ・テールランプ等の灯火類の取り外し。（ビス固定）
- ⑦ フロントガラス・リヤガラス・側面固定窓・サッシの取り外し
サッシは枠とガラスに分離して下さい。
- ⑧ サイドスカートリッド扉を取り外して下さい。（ボルト固定）
 - ・取手、ロックのないリットはスカート下端でボルト固定されています。
 - スカートリッドはロック、取手、ゴムなどの素材別に分離して下さい。
- ⑨ 運転席ドア・助手席ドア・後面扉・側面扉・側面扉の取り外し（ボルト固定）本体とガラス・ゴム等は素材別で分離して下さい。

- ⑩ コードリール・燃料タンク・乗降口補助ステップ等、床下架装物の取り外し（ビス・ボルト固定）燃料タンク内部には、軽油・ガソリンが残存していますので十分注意して扱ってください。

5. 内装部品及び内板の取外し

- ① カーペット・カーテン等室内装飾品取外し。（ホック・マジックテープ止め）
- ② 座席・ベンチシート・跳ね上げ座席の取外し。（ビス又はボルト止め）本体とベルト・クッションは素材別で分離して木製家具の取外し（ビス・接着固定）

※家具はビスを外した後バール等を用いて解体

※木材とシートベルト・クッション・表皮は分離し、適正に処理して下さい。

- ③仕切り扉の開閉器取り外し。（ボルト止めです）
- ④仕切り扉の取外し。（ボルト止めです）

※撮影室の仕切り扉内部には鉛板が挿入されていますので、骨格部と分離して下さい。又蝶番等の鉄製品・表面材の鉄又はアルミ板を分離し、それぞれを適正に処理して下さい。

- ⑤間仕切り及び仕切り扉の窓ガラス取外し。（枠材はビス固定です）

※撮影室の窓ガラスは、X線防護の為に含鉛ガラスになっています。

他のガラスとは別に処理して下さい。又窓枠には鉄・アルミ樹脂がありますので分別して分別して適正に処理して下さい。

- ⑥配電盤・コンセント・スイッチボックス・配線カバー等の電装部品を取外し。（ビス止め）

※電装品には水銀等の環境負荷物質が含まれている場合がありますので、ご注意下さい。

- ⑦側面・天井・間仕切り内板を取外し（ビス固定）鋼板又は合板が使用されています。鋼板仕上げの場合はスポット溶接で打点を探してキリで穴を開け剥がしてからサンダー・バール等で解体して下さい。合板仕上げの場合モールを取外してバール等で剥がしてください。

※撮影室の内板に貼付されている鉛板は必ず分離して適正な処理をして下さい。

⑧内外板・間仕切りの骨格内のグラスウール・発砲スチロール取外し

クーラダクト取外し（ビス止め）

※ダクト内にはウレタンシールが貼ってあります。必ず分離して処理して下さい。又樹脂製の吹き出しを取外し本体と必ず分離して処理して下さい。

⑨クーラー冷媒配管、ドレンホース取外し（ビス止め）

クーラダクト内板はビス又は溶接固定です。サンダー等を用いて溶接固定を外してして下さい。

⑩ 内外板間、間仕切骨格内に配線取外し

⑪間仕切骨格の解体（ビス又は溶接にて固定）

サンダー・ハンマー等で溶接部を外して、場合により切断機等で溶接部を外して解体して下さい。

⑪床の点検蓋取外し。（ボルト止め）

※緑材・塩ビシート・断熱材を本体と分離し適正に処理して下さい。

⑫床ベニヤ剥がし（ビス・接着固定）

※塩ビシートを剥がしてからビスを取外した後にバール等を用いて床材を剥がして下さい。塩ビシートは分離し適正に処理して下さい。

6. 車体外板の取外し

屋根の外板の継ぎ目の防水シール材を剥がして下さい。剥がしたシール材は適正に処理して下さい。

天井外板、側外板を取外し（リベット及び溶接固定）

モール取外し（シール部分はカッターナイフ等で切り取って剥がして下さい）

外板取外し。（外板は鉄又はアルミなので、分別して適切に処理して下さい）

7. 車体骨格の解体

本車体の骨格は、1) 構体 2) 後構体 3) 天井構体 4) 側面左右構体 4) 床構体と各部パネル方式の構成です。上記の 1) ～3) 構体の接合は溶接されています。床はフレームにボルト又は溶接されています。各パネルを取外す時は必ず吊り下げ能力 500 k g 以上のクレーンで吊り上げた状態で行って下さい。又ひとつひとつのパネルが大きいので、処分の可能な大きさに切断して適正に処分して下さい。